

湯の里 木の村 雪の国

にしあわくら

PUBLIC RELATIONS NISHIAWAKURA VILLAGE 2012

6

2012

(平成24年)

No.589

JUNE



力をいれて、イッチ・ニツ! イッチ・ニツ!!
青空の温泉まつりは、とっても楽しい。

No. 589

- 総合振興計画（意識調査と意見交換会）… 2～8
- 100年の森林づくり通信 …… 9
- 村内の出来事等 …… 10～12
- 幼稚園だより …… 13
- 小学校だより …… 14
- 中学校だより …… 15、16

CONTENTS

- 子ども館だより …… 17
- 図書館へ行こう …… 17
- 社協だより …… 18
- 今月の行事予定ほか …… 19
- 人の動きほか …… 20



村民意識調査・意見交換会へのご協力、ご参加ありがとうございました。意識調査の結果を基にみなさんからたくさんの意見をいただきました。

いただいたご意見等については、総合振興計画に反映していくことはもちろんですが、内容によってはより深く、意見交換を行いたいと考えております。

1. 村に住み続ける

下の表は、村民意識調査で「村に住み続ける上で必要なもの」を年代別に整理したものです。

どのような施策が必要なのか、年代毎の特色もありますが、全年代通じて必要とされているものがあります。

村民意識調査と意見交換会から見えてきた課題。

「救急医療体制の充実」は、多くの世代で望まれています。

若い世代では、「就労」や「教育・保育」の充実が望まれています。児童生徒が減少することによって学校がどうなっていくのか。近隣に高校がなくなっていくことによる通学への不安が現れたものと考えられます。

50代を過ぎると「独居高齢者の見回り」「農林地の荒廃、獣害対策」などが望まれています。高齢者の見守り・支援体制が充実することで現在の高齢者だけでなく、将来高齢者になるみなさんが安心して暮らせることを求められていると考えられます。

不安を取り除き、安心して暮らせる村を目指すためにはこのような施策の充実が必要です。

表1 村民意識調査より「西栗倉村に住み続ける上で必要なもの（年代別）」

10・20代	1位 就労の場・機会の充実、教育・保育サービスの充実 2位 救急医療体制の充実 3位 携帯電話の通信エリア等の向上、独居高齢者の見回り体制の充実
30代	1位 就労の場・機会の充実 2位 救急医療体制の充実 3位 教育・保育サービスの充実
40代	1位 就労の場・機会の充実 2位 教育・保育サービスの充実 3位 救急医療体制の充実
50代	1位 就労の場・機会の充実 2位 独居高齢者の見回り体制の充実 3位 救急医療体制の充実
60代	1位 農地・山林などの荒廃、獣害対策の充実、救急医療体制の充実 2位 独居高齢者の見回り体制の充実 3位 就労の場・機会の充実
70代	1位 独居高齢者の見回り体制の充実 2位 農地・山林などの荒廃、獣害対策の充実 3位 救急医療体制の充実

表2 村民意識調査より
「村が今後力を入れるべきこと（年代別）」

10・20代	児童福祉や子育て支援の充実
30代	児童福祉や子育て支援の充実
40代	学校教育の充実
50代	保健・医療施設や救急医療体制の充実
60代	保健・医療施設や救急医療体制の充実
70代	高齢者福祉サービスの向上

2・村が今後力を入れるべき事

村民のみなさんが、「村が今後力を入れるべきこと」では、各年代によつて生活やおかれている状況が異なるため、望まれている内容も異なります。

村全体として見れば、人口構成が高い、50代以上の意向が反映されやすくなりますが、年代毎に見ることで世代毎に適切な施策を行う事が出来ます。

3・具体的にどのような施策が必要か。

村民意識調査の結果から、「村に住み続ける」「村が今後力を入れていくこと」のテーマが見えてきました。これらを具体的に見たときに実際、どういった施策を村民のみなさんが望まれているか掘

り下げていくことが必要です。5月21日から5日間かけて行つた集落別意見交換会では、意識調査の結果のほか、意識調査から見えた課題の内容を中心にご意見をいただきました。

子ども、子育てに関する意見

◎子どもが1番。でないと、将来の希望なくなる。今の子ども達を大事にしていかないと。将来の担い手になるのだから…。

●教育については、どういうふうに取り組んでいくか考えてもらいたい。小中学校も充実した場にして欲しい。

●幼稚園、小学校、中学校と少人数で同じ同級生の中で、密接な人間関係の下で大きくなっていくことのメリットはあったかとも思う。街にくらべて通学の危険性が少ないとか、近所に知った人がいて、外で遊んでいる時や、登下校の時に声をかけてもらえる安心感とかも西栗倉のい

いところ、そこはこれからも大事にしてもらいたいと思う。

●15歳までと限られた短い期間かもしれないけど、村外の人に自慢できる学校や地域であれば、就労の場所がないとかアンケートに出ていたが、就学環境を求めて西栗倉に来てくれる人もでてくるのでは。

●とにかく子どものことが大事。学校も美作に合併した方がよい。役場の建て替えより子どものことが先。火葬場やゴミ処理など

美作をお願いしている。学校も同じ事。

●教育・保育環境が悪いとの調査結果が理解しにくい。0歳児から安く預かる環境も整っているのに。対象世代が本当にそう思っているのかどうか？教育・保育を一緒の項目にしたからか？保育は充実しているのでは。

高校に関する意見

●林野高校や津山の高校へ行っている人を見ると送り迎えが…。

議員が近くの高校へ行けるように力を入れてるのはわかるが、なかなか行けるようにならない。

●近くの林野高校へ行ってもバス代がとてめかかる。皆さんよくやってきてるなと思って、自分も頑張った。

●高校生の通学問題について。近隣校が高校の統廃合で廃校になっている。以前要望することで、鳥取などへいけることができるようになった。働きかけをもつとしては？

●子どもが高校に通うことへの保護者の負担感はその人の考え方だ。現在は保護者同士協力しな

がら送り迎えをしている。バスがあれば楽かもしれないが、バスの運営・維持には経費がかなりかかる。難しいのでは。

●高校までは進学する世の中で、高校に通いにくいのは地域差別とも言えるのではないか、公費で高校の通学助成等、高校進学の支援が必要ではないか。そう

いうこともしないと、人口が減っていき、すぐに千人を切るのではないか。

●例えば村営の宿舍を津山に建てるとか、そんな発想はないのか？子育て教育環境の整備について村はどうするか。
●智頭農林には通えるが、佐用高校へ行けるようにならないか。

高齢者福祉・移動手段についての意見

今のところは大丈夫。困ったら近所が助けあって送り迎えくらいしてもいいけど・・・いつまでも自分もできないし・・・。自分も明日どうなるかわからない。・・・移動手段がなくなることについて

高齢者サービス

●この年になると施設にすぐ入所できるか不安。近くの施設にすぐ入れる環境にしてほしい。診療所がなくなったら困る。近くに受診できる施設がほしい。なくさない努力をしてほしい。

●一人暮らしでは、日々の暮らしに生活のしづらさがある。そういう不安もあるのでは。

●保健福祉分野は大変密にサービ

スを受けているが、そこにかかるまでの人をもう少し元気にする手段のきっかけについては行政の支援が欲しい。

●この地区の老人クラブはめったに集まりがなかった、去年から社協の関係で毎月公民館に集まれる様になった。家にずっと閉じこもっていた人でも外に出るようになった。家に閉じこもらずに、どこかへ出てもらうよう

な取り組みがもつと増えてこないとよいけいにボケたりしてくると思う。こんな活動ももつと積極的にしていくべき。

●（現在受けていない人も行っているサービスを知る機会として）ゆうゆうハウスのサービス等を広報紙等でお知らせしてはどうか。

●都会から帰ってきて思ったのは、デイサービスが気持ちがいこもっていて温かい。良いことを広報紙でお知らせしていくことが大切だと思う。

高齢者の見守り

●高齢者所帯だが、高いところの電球を変えたり大変。落ちてけがでもしたらと考えると、電球の交換さえなかなかできない。

●私は近所の家の一人暮らしの方のカーテンの開け閉めや、電気がつくか気にしてみている。近所、近所で見守り合うことが大切。

●見守りは田舎らしいやり方で。近所づきあいがうまくいくようにすれば、簡単なことだと思う。

●福祉サービスは色々やっている。

相互の助け合いができればいい。やはり地域での体制が大事。地域での活動が活発になっていくといい。

移動手段・買い物

●買い物する所がない。商店と協力してワゴン車を買って地区をまわるとかしてみたい。行政は出来ませんでしたで終わる。苦情を言う人もいるが、行政が前にでてやっていったらいい。

●福祉バスは続けてほしい。佐用や津山へ病院等で行くときタクシーで安く行けるようにしてほしい。

●いつも買い物や病院に行くのに、人に頼むのも気を使うし、運転もできなくなるし、空気もきれいでいい所だけど、交通の不便だけが悩み

●せめて大原まで行けるように検討してみ。週に2、3回くらい。

救急医療体制についての意見

●近くの病院を受診していても、病気になる専門医は遠くの病

院に行かなくてはならない。

- 近くの病院は、医師が専門外ま
でみており、不安がある。対応
が良くなかったとの話しも聞く。

- 村外から一時的に村に生まれて
いた方が、西栗倉は環境も子ど
ももいい。ただ、自分が少し年
がいつているので救急が不安と
言っていたことを思い出す。救
急車が直接、鳥取方面にいける
ようにしてくれたらありがたい。
● AEDを各部落においてもいい
のでは。

※AED 突然の心停止を起こして倒れた
人を、そこにいる人たちがその場で使っ
て倒れた人の命を救うことができる器械
です。

- 緊急医療体制で村にないと思っ
たのはヘリポート、小中学校のグ
ランドとかあるけど、確保する必
要がある、臨時はあるけど、専用
がない、緊急でもいいけど（村民
グランドが指定になっています。）

雇用についての意見

- 若い人を集めるのに働く場所が
ない。近くに働く場がない。ハ
ローワークに行っても募集2名

で30人来るが、書類審査もあつ

て大変。ナカバヤシみたいな大
きな会社をつぶさないようにし
て欲しい。人口は増えない。お

金は入ってこない。生活に困る。

大きい会社あれば税金も入って
くる。家から通える働き場が必
要。

- 本間に仕事を探すのであれば、
津山よりも鳥取に近い。通勤圏
内である。東京都内での通勤の
ことを考えると近い。

- （後継者が帰ってくるとした時）
子育て環境も大事だが、就労先
の確保の方が大事。働き先がな
ければ帰ってくることはなら
ない。

- 村外の企業が西栗倉に来たいと
言っても、反対する人がいる。
どういう見か。これだけ雇用
の場がないと言っているのに、
せっかく来てくれそうな企業を
拒否する。意向が良くわからない。

- 美作市の作東工業団地も作東町
の時は企業誘致がすすんでいな
かったが、合併してから議員が
動いて誘致し、補助金もだして

きた。西栗倉もアクセスのいい
場所だから、役場で課を立ち上
げるぐらい危機感をもって力を
入れてやってほしい。

- 鳥取道ができれば交通がよくな
る。京阪神への通勤ができ人が
流れる。西栗倉に家があっても
給料が高いいところへ職場を求め
ていくと思う。それなのにこの
振興計画で企業誘致等進めてい
くつもりか？これは観光にもつ
ながっている。

観光・森の村振興公社に ついての意見

- 観光が話題に度々でてくる、具
体的にどういうことを考えてい
るのか？産業観光課ができた、
具体的にどんな観光事業をする
つもりなのか？今までの観光事
業は赤字らしい、よく討論して
欲しい。

- 公社でやっている観光ツアーは
いいと思っている。天然林・川
とか取り組みを拡げて欲しい。

- 公社について、村内者がすぐや
める、入らない原因は。人事関
係に問題があるのでは。

- 旬、らんどもよその野菜が多い。
出荷は持つて行けない人が増え
ているので、集めて回るとかし
てはどうか。

- 公社、経営のアドバイザーは建
てる時にはいたのだろうけど、
運用・管理では役場の出向とか
公社職員でやってきた歪みが出
てきていると思う。民間では完
全に倒産している状態の会社を
やっているだけで、撤退すると
いうことができない。

- 赤字が3千万円あるのであれば、
それを他の事業に使えるという
面もある、村の中で総合的に判
断してもらう必要がこれからは
あると思う

- 数年前に村長と話しをした時に、
基本的には村財政を逼迫するよ
うな事業はダメですよといった。
それが4年前。それから考えま
すとずっと言っている、ここに
きて赤字を垂れ流しとなってい
る、赤字3千万円、4千万円、
10年で3億、それで国民健康保
険の窓口負担を3割にして5百
万円の減税では住民を馬鹿にし
ている、若い人が寄ってこない

一理がある。

●観光を実際にやるのは民間に任
したらいいい、知恵を出すのは行
政でいい、割り切らないと観光
には完全に公共性がない。公共
性というのは健康保険関係とか
インフラ関係が公共、住民の公
共ということ。鳥取に行く人の
便利を考えてというのは地方自
治の公共ではない。

定住についてのご意見

●村全体の活性化、意味はいろい
ろあるけども、住みよいつてい
うのはどうということか？、魅力
のある村ってというのはどうい
うことか？出た人が帰ってきた
というのはどういうことか？そ
れと基本的な生活基盤が充足さ
れるということ。生活基盤が充
足されるということは病院にも
行きやすい、いろんなことがい
っぱいある。

●新しく村に入って来られた方と
地域の中でトラブルはあるのか。
来られた方の中にははつきりと
ものを言いすぎる方もいて、こ

れまで住んでいた者には受け入
れがたいこともある。

●定年した人はこれから村のお金
がかかる人ばかり。若い人を食
い止めるのが大切。それを行政
が力を入れていくべき。
●住宅関係も充実させていった方
がよい。

農業・農地・獣害についてのご意見

農業・農地

●（耕作地を）預かってくれる人
が今は数人いるが、将来そんな
人がいるか不安。

●農業が経営活動にならないと、
荒廃地が多くなる。中山間直接
支払が荒廃を防いでいるとも言
える。森の村公社に補助してい
るお金を集約して農家育成にま
わしてはどうか？それなら、村
民も文句を言ったりしない。自
分たちのことだから。

●人口（担い手）が減っていくこ
とはわかっていいるのだから今か
ら手立てして行かなくては

●（青空市の野菜の集荷を行った

らという意見に対して）回るつ
いでに見回りするとか、売ると
か福祉も兼ねて出来ないか？

●耕作放棄地も増えると言うが、
まだそんな状況に西栗倉はない。
普及センターとも話したが、岡
山市などと比べたら、家の分は、
若い人も手伝ってしつかりやつ
ていると思う。

●これまで、夏の涼しい気候を利
用して、ほうれん草をやつてき
たが、暖かいところでも作れる
ようになった。そうなると大規
模な方がノウハウもある。量も
ある。契約も大口と出来る。

●今の気候を活かして出来る作物
を考えてないといけない。規模
では勝てない。

●（米をもう少し高値で販売出来
ないかことについて）行政が行
う。公社が行う。どこがするの
がよいかわからないが、毎年、食
味計で、ある農家が計ってもらっ
ているが、魚沼産のコシヒカリ
と変わらない結果が出ている。

●西栗倉の米、食べたら定着率高
い。が、機械代までとなると元
とれない。しかし、毎年買って

くれる喜び、お客さんの声を聞
ける喜びはある。

獣害対策

●獣害が問題となっているが村は
何か対策ができていいるのか？ほ
場整備みたいのに、村全体で行う
対策が必要。個人レベルでの柵
設置では追いついていない。防
護して捕獲の対策が必要。

●鳥獣対策で特区で夜間でも決め
た鳥獣だけは撃つてもいいとい
う様な許可はでないのか？これ
だけ鳥獣は増えてきているのに、
猟友会員は減ってくるし、将来
は凄いくことになるって田も何も作
れなくなる、電柵をしても今で
も入る、もう捕るしかない、出
てきたものを撃つ様にできない
か。

●数年前まで、メス鹿捕らなかつ
たのも、影響しているのではな
いか。

●美作が鹿肉加工所を作ると聞い
た。西栗倉で取った分も引き受
けてもらえるよう協議して言っ
た方がよい。その辺に捨てるの
はダメだから。

林業・山林管理について のご意見

● 1000年の森林に参加するのは嫌だが管理はしないといけないと数字にでるし、どうとらえるか考えておかないといけない。

● 山林の管理が困難とあるがどういうところか？自分の山の管理を自分ですることが困難なのか？1000年の森林があるのでそういうところは解決できるのでは？1000年の森林の制度は複雑なのでもっと住民に丁寧な説明がいるのでは。

計画・財政・これからの 村づくりについてのご意見

● 大きな目標を立ててやって欲しい。人口減少にストップをかけるというような事を大きな柱として、そこへ他のものがぶら下がってくるような計画がいい。いろんなものがバラバラではなく大きなテーマを決めて作ってほしい。

● 具体案を示してくれないとわからない。それがクリア出来たの

が出来きてないかもわからない。示してくれたら、それがどこまで実現できたかわかるし、障害があればどうしたらいいのかもしれないで考えられる。

● 今までの役場は、こういう計画など住民の意見を聞いてこなかった。今回、住民の意見を聞こうと、こういう会を開くなど評価する。今後も高齢者だけでなく、色々な世代の意見を聞いてほしい。

● 財政の健全化、今は自主財源が17〜18%しかない。全部他力本願、今後これをどうするか？村おこしをどうするか？自主財源を引き上げるためにどうするかということが全然ない。10年間に反映するということは、お金、人、物、時間を投入するわけでしょ？どこに、どの位のお金、人、物、時間を投入するかというところが見えないといけない。

● 交付税の使い道は自由。時間を重点的にこれだけには使おうとか、時間の配分を、すぐやらなければならいものと、将来的なものに整理し、やっていけない

と、それが政治だと思う。

● もっと村民参加で、自分たちに返ってくるんだから。他力本願ではない、自分たちが意見を言ってそれを村が反映、実行するというスタイルじゃないとダメ。

● もう少し将来ヴィジョンを語れる村でないといけないと思う

● 今後どんな流れでいくのが分からない、先が見えない、アンケートをやって、村は意見聞きましと言われると、今までと変わらない、過去の課題がいつぱいある、例えば5カ年の財政計画を役場で決めたが意識してない。人件費は2億8千万円、今は3億いくらでしょ、(産業) 観光課増やした、矛盾していることだらけ、それでよくやるなと思う。それでまた一からやって、10年経ったら村のトップは変わっているかもしれない、担当変わりましたといわれたら誰がするのと言うことになる。

● 村は、まずアクションをおこしてほしい。まずやってみての評価でいいのでは。考えすぎずやってみる。動かない0より1がま

し。

● 税収の少ない村なので、出来るだけ行政に協力していきたい。村全体が家族だと思って、村民の意思統一が大切だと思う。

若い世代の 村づくりへの参加

● もっと現実的なビジョンをどうするかとか、具体的な施策の話をするのでないと若い人達は出てこない。

● 若い人達の意見を聞く場を設ける必要があるのでは？



議会・役場についてのご意見

● 本会議でみんなが選んだ議員がどれだけ意見を発しているか聞きに行ったほうがいい。立派な意見を言う人も中にはいるけど、一言も発言しない人もいる。もっと村民参加で、自分たちに返ってくるんだから、他力本願ではない、自分たちが意見を言ってそれを村が反映、実行するというスタイルじゃないと、いけないと思う。

● 選挙前に若い人の集まりの中で話し合いをした時に、議員の座談会を開いて欲しいと要望があった。

● 役場に行っても応対できていない。知らん顔する。パソコン見てるばかり。役場の人は、高齢者が窓口に来られた時あいさつして話を聞いてあげて欲しい。若い人はほっといても聞く事が出来るが、高齢者は無視されたり行き場がなくなる。

防災についてのご意見

● 災害については少ない地域なのでいい面はある。

● 災害は少ないが、各地区で危ない所を把握していると思うがそこを整備して安心して暮らせるようにしてもらいたい。

● 砂防堰堤で既に埋まってしまっているところがある。ゲリラ豪雨も増え、点検して、必要なら対策を計画にあげておく必要があるのでは？

その他についてのご意見

● 山陽新聞をよく読んでいるが、新庄村はよく記事がでていて、情報発信ができています。新庄村よりいいところは西栗倉にはたくさんある。もっと情報発信してアピールして欲しい。

● 自分たちの地区は、秋祭りの他に夏祭りも盆踊りをしたり盛りである。地区以外の人も参加OKにしている。広報紙等で広く紹介して欲しい。

● この地区の場合はやがて人がいなくなると思う。若い人は盆、正月くらいしか帰ってこない。

● 今までは地区単位でいろいろやってきたが、これからは地区の統合があるかもしれない。いくらか小さくても頑張るか、その辺が一番大きな問題、自治活動いかに支援してもらえるか、助成金をだすとか、餌にせず、実績のあるところに。

● 要望としては、道路改修も今後考えて欲しい。

アンケートについてのご意見

● アンケートは決まったこと、わかりきったことが出ている。

● 今後のアンケートはコンサルに頼まず、もう少し簡単なものがいい。村のことがよくわかってる人に、お金をかけずに作ってもらいたい。

● アンケート結果はみんなの意見をよく反映している。中間発表をして最終的にどのような計画にしていけるのか。次の段階で村民が入れるのかどうか。各地区

をまわっても目が覚める意見はでないと思う。

● 10年間の計画をアンケートとして、冊子作って終わりでは困る。住民を参加させた以上は、意見を反映させたり、年々報告したりしないといけない。

● アンケートの結果は総合振興計画に反映してほしい。また、達成度を公表してほしい。

注：今回の意見交換会では、項目毎に複数の意見が寄せられました。出来るだけみなさんのご意見を掲載したいと思い、編集しましたが紙面の都合もあり、割愛させていただいたご意見もあります。ご了承ください。また、発言の意図が変わってはいけないうで出来るだけそのまま掲載しました。

総合振興計画 ～これからの予定～

- 6月～7月 重点事項等について意見交換会の実施
- 7月～8月 計画案の作成。審議会の発足
- 9月～10月 計画案への意見募集、修正
- 11月 修正後の計画を審議会で協議
- 11月末 議会議決を経て総合振興計画完成

第2回

新しい森林づくり 発見ツアー 開催しました!!!

4月18日水曜日、さわやかな晴天のもとで、第2回目となる「新しい森林づくり発見ツアー」を開催しました。今回は、林分調査の体験やミツマタ和紙の製造過程の見学など、新しいメニューもありました。

参加者は8名。みなさんとても積極的に体験や見学をされ、充実したツアーになりました。

スタッフも交えた昼食会では、



8:30 森の学校 集合
1. 集合時。良い1日が始まりそうです。



9:00ごろ 影石谷の私有林
2. 林分調査の胸高直径を測っている様子。どれを伐ると適切な間伐になるのか、真剣に考えました。

「良い勉強になった」「また来たい」など嬉しい感想もいただきました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

ツアーは、今後開催する予定です。よろしくお願いします。



3. 100年の森林事業で行った間伐後の森林。こんなに明るくなりました。



10:30ごろ
ミツマタの加工所

4. 下土居の旧鶏舎を利用したミツマタ加工所。蒸したミツマタの皮は、するする剥けてやみつきに！

11:00ごろ ニシアワー製造所



5. 間伐材をより美しい製品にするため、板材の節埋めは必須。



12:30ごろ
森の学校 展示室

12:00ごろ 参加者とスタッフで昼食会
13:00 解散

～美作国建国1300年記念フェスティバル～ 春のあわくら温泉まつり開催



美作国ご当地アイドル“SakuLove”も丸太切りに参加

今年も春のあわくら温泉まつりが5月13日に開催されました。まつり復活4年目にして初めて天候に恵まれ、あわくら荘駐車場で開催することが出来ました。

今年は楽しいイベントの他、美作国建国1300年を来年に控えており、美作国ご当地アイドル「SakuLove」を招待し、まつりを盛り上げてもらいました。

最後は、毎年恒例の餅投げで締めくくり、みんなが楽しいひと時を過ごせた一日となりました。



もう一息だ！ がんばれー!!



白熱の丸太切り競走！優勝のゆくえは・・・

おもちゲット♪

今年も会場周辺の住民のみなさま、各関係団体の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

来年の美作国建国1300年記念のまつりをみなさまと一緒に一丸となつて、今年よりさらに盛り上がる楽しい温泉まつりにできると嬉しいです。



まつりのスタートを盛り上げた“あわくら太鼓”

西栗倉村消防団健闘！

第59回岡山県消防操法訓練大会が、5月20日、岡山県消防学校（岡山市東区瀬戸町）で開催され、本村消防団は小型ポンプ操法の部25チーム中、23番目の出場となりました。

村大会終了後約二カ月、仕事と練習の両立など試行錯誤を繰り返しながらの練習でしたが、当日は、その成果が遺憾なく発揮できました。

上位入賞は果たせませんでしたが、長期間練習を重ねてきた選手皆さん、団員の皆さん、そして選手を支えてきた家族の皆さん、大変お疲れ様でした。



小型ポンプ操法の部

指揮者	井上 幸則
1番員	江原 隆仁
2番員	草刈 正明
3番員	田村 典史
補助員	矢部 好史



あわくら大学だより5月講座

『高齢者の交通事故防止』



視覚と感覚の差を体験しました。

ユーモアを交えた楽しい講座でした



本田技研の社会貢献活動の1つとして講習会を全国で行われています。

【あわくら大学 6月 社会見学】

6月15日(金)
『京都水族館と金閣寺』
集合時間、集合場所は
テレビ文字放送でお知らせします。

5月講座は、本田技研工業(株)安全運転普及部鈴鹿普及ブロックの西條氏を講師としてお招きし、「高齢者の交通事故防止」と題して、交通安全講座を開催しました。薄暮の時間帯に事故は多く、外出の際は明るい服装で反射タスキを着用することを強く奨められました。また脳トレーニングなども行い、危険予知に心掛ける自動車運転を学びました。

〈5月18日(金) 10:00～ あわくら会館大ホールにて〉



西栗倉建設事業協同組合
による安全祈願祭の様子



(完成図)
2階建 延床面積87.31㎡

中土居地内で村営住宅の建設が始まりました。場所は、現在の中土居住宅の北側です。
工期は、10月末までで5戸建設される予定です。

村営住宅の建設が 始まりました

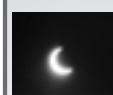


校庭のあちらこちらから、
歓声があがりました。



次の金環日食は、2030年
北海道で見えるそうです。

5月21日の朝は、日本中で皆既日食を見るために空を見上げた方がいらつしやいました。
テレビ等で言われている「金環日食」は、本村で見えることは出来ませんでした。が、小学校では、児童や保護者が朝早く集まり、校庭で「日食めがね」を片手に、部分日食を楽しみました。



西栗倉でも見えました！ 部分日食

◎電気自動車用スタンドが出来ました。

場所：あわくらんど北駐車場
利用時間：9:00～19:00
利 用 料：無料



趣 味
お菓子作り
ひとこと
5月から西栗倉村役場建設課で働かせていただきます。一所懸命勤めさせていただきます。みなさんのお役に立てるよう頑張りたいと思います。



氏名：河野 祥子
(ここの しょうこ)
配属先：建設課

西栗倉村 新規採用 職員紹介

5月から新しく加わったスタッフを紹介します。
よろしくお願いします。

おしえて

ね ん き ん

平成24年6月からお支払いする年金額が0.3%引き下げられます

現在支給されている国民年金については、法律上、直近の年金額引き下げの年（平成22年）よりも物価が下がった場合は、これに応じて年金額を改定することとしています。平成23年平均の全国消費者物価指数が平成22年に比べてマイナス0.3%となったため、平成24年度の年金額（平成24年6月～平成25年4月支払分）は0.3%の引き下げ（65,741円→65,541円、月額）となります。（法律で定める端数処理等により、平成23年度の年金額を0.3%引き下げた額と完全に一致するものではありません。）

☆ 詳しくは、津山年金事務所（TEL.0868-31-2365）までお問い合わせください。

ようちえんだより

5月14日（月）中土居の田んぼで、年長・年中組が田植えを行いました。支援ボランティアの『神原吉男』さんに、苗の持ち方から植え方まで分かりやすく教えて頂きました。年長組は教えて頂いた事をよく聞き、一つ一つ丁寧に苗を植え、2、3回繰り返すと、こつをつかみスムーズに植えられるようになりました！年中組も全員で田んぼに入りましたが、初めて入る田んぼの泥に足をとられ、なかなか思うように歩けない子も…しかし、自分たちなりにさっきまで見ていた年長組の真似をしながら、頑張っ

5本くらいの苗の根っこの近くをもつんだよ～！



次はここに植えたらいいな！



前の苗と並べて植えるんだよ



平成23年度PTA役員さんのご厚意で、幼稚園の砂場に新しい砂が入りました！！砂が届いたことに大興奮の子どもたち！トラックから移された砂が大きな山になっているのを見て、登ったり固めたり掘ったり…思い思いに砂遊びを楽しみました。

役員の皆さんありがとうございました！！大切にに使わせていただきます。



☆ありがとうございます☆

今年度も武蔵青少年育成会様から「園児のために使って下さい」と寄付を頂きました。子どもたちのために有効に使わせていただきます。



JAさんよりテントを一張り頂きました。これから日差しが強くなりますので、日差し避けに大切にに使わせていただきます。

ふるさと元気ウォーキング

小学校だより

西栗倉小学校では、今年度から『ふるさと元気学習』をスタートさせました。ふるさと西栗倉村の自然や人に学ぶことで、自分自身や地域を元気にしていく取り組みです。
第一弾が、これから紹介する「ふるさと元気ウォーキング」です。

原生林を出発

5月7日（月）は、春の野山の輝きが美しく感じられる気持ちの良い日になりました。スクールバスで西栗倉村の源である原生林に移動しました。



子どもたちの背後には「地球を救う緑の文明 森林浴の森 若杉天然林」という看板があり、未来を担う子どもたちを見守ってくれているように感じた。

担当の先生から、周りの木々の話を聞きました。教科書に登場するモチモチの木（栃の木）の紹介・杉・檜の違い。そして出発です。

大茅スキー場まで

原生林から大茅スキー場までは一年生から六年生までの縦割り班グループで歩きました。高学年の児童が「森のおくじものビンゴ」カードを持ち、下級生に「鳥の鳴き声が聞こえたら、教えてね」「動物の糞を見つけたら教えてね」「なごとビンゴ」カードの課題について説明しながら歩きました。

「わあ。まだ、雪があるよあ。」「冷たい。」原生林から、少し歩いた道縁にまだ、雪が残っていました。

「木に咲いている花なんかないよあ。」しばらく歩くと、「あつたあ。」「まだ、桜が咲いている。」自分たちの家の周りでは一ヶ月前に咲いていた桜が、原生林の近くではまだ咲いていました。

「西栗倉には、杉の木がいっぱい植えてあるなあ。」「檜の木は少ないで。」「ほくは、杉と檜の葉っぱの違いがわかるで。」「歩きながら、たくさんさんの自然を感じた子どもたちでした。



「あつ。しー。聞いて。鳥の声。」「ビビ。」「すーごーい。きつれえ。」「鳥の鳴き声に耳を澄まして、美しい響きにきらきら笑顔で言っている子どもたちでした。

森の学校まで

大茅スキー場では、グループごとにお家の方の愛情がたっぷり詰まったお弁当をいただきました。少し休んで森の学校へ出発です。五五kmの道のりは、かなりしんどかったのですが、子どもたちはよく歩きました。

大茅公民館では、区長さんが子どもたちを迎えてくださり、トイレ休憩をさせていただきました。田植えをされていた地域の方々に子どもたちの「こんにちはあ。」の大きなあいさつが届くと、同じように大きく手を振りながら、あいさつを返してくださいました。



児童の感想



- 頑張った作ったバッチをみんなにつけてあげた。どきどき、わくわく出発。
- ゼンマイを見つけた。毛がふさふさだった。
- スギの葉っぱはトゲトゲ、ヒノキの葉っぱはツルンとしていた。
- 歩道がスギの葉っぱでうめつくされていて、歩くと、それがくつの中に入っていて、とつてもチクチクした。
- 途中で、鳥の鳴き声を聞いたり、いろんな葉っぱをさわったり、ミツマタも見つけた。途中の川で、雪どけ水をさわった。冷たかった。
- すごく小さな花を見つけた。とてもきれいな色でかわいかった。
- 「森のおくりものビンゴ」をして歩いた。書いてあるものをさわったり、におったり、見たり、聞いたりして見つけた。
- 山の中は、ちょっとひんやりしていて、木がいっぱい倒れていた。どうしてだろうと思った。やつと山を出たら、とつても明るかった。
- お兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に弁当が食べられてうれしかった。
- △△くんが、「つかれたあ。」と言った。□□さんが、「がんばって。」と言っていた。
- 歩いて歩いて歩いて歩いて歩いて、やつと森の学校に着いた。
- 若杉原生林入口から小学校まで大変だったけど、とつてもとつても楽しかった。

輝く笑顔 みなぎる意欲 夢の実現に向けて

～幼小中連携を通して～

西栗倉中学校

がんばっています!! 部活動

西栗倉中学校では、本年度は以下のような部活動を組織し活動しています。

部	名	部員数
運 動 部	バレーボール部（女）	12人
	卓球部（男女）	9人
	スキー・陸上部	8人
文化活動部	ボランティア部（男女）	3人

中学生にとって部活動は、技術を磨くだけではなく、礼儀やマナーも学んでいきます。活動を通して、心と体を鍛えていくことをめざしています。

活動の様子

バレーボール部

本年度は、新入生4名が入部し、小林先生・矢代先生に指導を仰ぎながら日々、練習に励んでいます。5月11日の美勝英支部総体では、1勝1敗と善戦しました。美作総体に向け、がんばっています。応援、よろしくお願いします!!

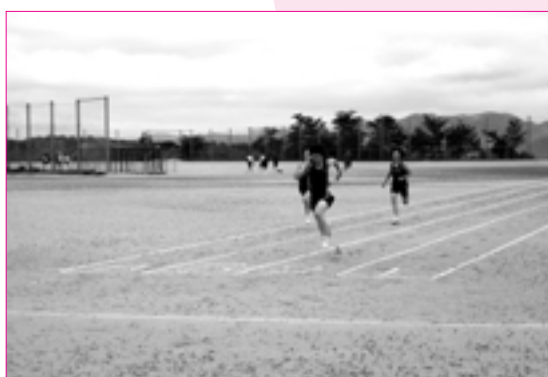


卓球部

美勝英支部総体では、接戦のすえ、団体4位、個人戦では、ベスト8位でしたが、今は7月の美作総体へ向けがんばっています。本年度は2名が入部し、藤本先生・土井先生の指導のもと、がんばっています！！



陸上・スキー部



今年5名の新入生が入部し、現在は8名で練習に励んでいます。今回の美勝英支部総体陸上競技の部では、100m走（優勝・2位）・800m走（2位）・幅跳び（優勝）を勝ち取ることができました。宿野先生、川上先生と共に美作大会に向けがんばっています！！ 本年度も、井上元校長先生の、熱心なご指導を戴いています。

ボランティア部

本年度は、3名で活動しています。地域のボランティア建元さんのご指導の下、谷口先生、石井先生と一緒に「苗づくり」をしたり、学校の「花作り」や「野菜作り」にもチャレンジしています。みんなで協力して、がんばっています。





子ども館だより

お問い合わせは

子ども館 ☎ 279-2566
教育委員会 ☎ 279-2216

ぽんぽこ園

「大好きお散歩」



園庭のないぽんぽこ園では天気の良い日には近くへ散歩に出かけます。子どもたちはいろいろなものに興味津々。花や虫いろんな発見をし西栗倉の自然を楽しんでいます。



お知らせ

つどいの広場『バンビ』



親子ふれあい遊びの日の様子



げんきっこクラブ

一時預かりについて



『消火訓練・救急法講習会』

6月19日(火)に美作市消防本部の方にきていただき、「消火訓練及び救急法の講習会」を10時より子ども館で行いますので、ぜひご参加ください。



げんきっこクラブ(放課後児童クラブ)は保護者が就労等により家庭にいない時間を、子どもを保護しながら、遊びと生活を提供する場です。しかし、病気や出産・冠婚葬祭等やむを得ない事情により下校後お家で保育出来ない方にかぎり、一時預かりも実施しています。利用される方は必ず前もって連絡をお願いします。なお、利用人数によってはお断りする場合もありますので、ご了承ください。

図書館へ行こう!

☆問い合わせ先☆

あわくら子ども図書館 西栗倉村影石33
こども図書館 ☎ 279-2116
教育委員会内図書係 ☎ 279-2216

開館時間: 10:00~17:00
休館日: 祝祭日、年末年始
今月は...お休みはありません。

今月の新着本

一般書

- 『パラダイス・ロスト』 柳広司/著
- 『かすていら—僕と親父の一番長い日』 さだまさし/著
- 『晴天の迷いクジラ』 窪美澄/著
- 『花のようする』 藤谷治/著

児童書

- 『紳士とオバケ氏』 たかどのほうこ/作・飯野和好/絵
- 『まいごのどんぐり』 松成真理子/作
- 『かこさとしこどもの行事しぜんと生活 5月のまき』 加古里子/絵・文
- 『どこ? ふしぎなまちのさがしもの』 山形明美/作

今月のおすすめ本

『三毛猫ホームズの夢紀行』

一般書

赤川次郎/著

青年・小出弘一は母親と二人暮らし。働かずに家に閉じこもり、心のよりどころはパソコンに登録した仮想の少女との会話だった。ある日、弘一の母親・雪子が殺される。片山刑事は、主婦である彼女が所有していた謎の大金について調べるうちに、雪子がまったく別人のような格好で、黒スーツの男をしたがえてオフィスの入った高層ビルを訪れていたことを知る。そして、そこには弘一のかつての彼女・天宮亜由が働いていた。雪子の目的は果たして何だったのか!? 手掛りを求めて片山刑事が奔走するなか、ホームズが捉えた犯人とは…。大人気シリーズ第48弾。

『サムソン先生のダジャレ英語学習帳』

児童書

よしながこうたく/作 ルーカス・パデキ・バルコ/英語監修

笑って学べる英語入門書の決定版!? 英語バイリンガル絵本。50音順ダジャレ英語+類語も充実。

子ども読書週間にあわせて、子どもに伝えたいオススメ本を掲示していました。掲示を延長しますので、図書館にお寄りの際はご覧ください。



「本の返却忘れてませんか?」

2週間以上借りている本はありませんか? 特に人気の本は待っている人がいますので、早めの返却をお願いします。

社会福祉協議会からのお知らせ

《2012夏のボランティア体験事業のお知らせ》

中学生・高校生を中心としたボランティア活動に関心のある方に勝英地域の社会福祉施設などでの体験を通じて、福祉への理解を深め、「ともに生きていく」ことについて考えてもらう機会を提供します。



実施期間 7月中旬～8月

参加受付 6月4日～6月15日

※詳しくは社協までお問合せ下さい。

☎ 279-2561

《県境市町村親睦交流ゲートボール大会》

西粟倉村老人クラブ連合会主催による親睦交流ゲートボール大会が4月26日にコンベンションホールで開催されました。日頃の練習で腕を磨いた県境市町村12チームによる熱戦が繰り広げられました。各チーム3試合ずつ対戦し、お互いに親睦と交流を深めた1日となりました。

試合結果 優勝 土居Aチーム（作東地区）
準優勝 大原チーム（大原地区）
第3位 バレンタインチーム（作東地区）
第4位 大吉チーム（大原地区）



《よみみちイベント》 ～花のよせうえ～

4月23日よりみちイベントが行われました。19名の参加があり、イベントは盛り上がりしました！！また天気もよく気持ちのいい日となりました。



《修学旅行に千羽鶴を託しました!!》 ～沖縄ひめゆりの塔へ～

利用者の皆さんと職員で日々丹精込めて作った千羽鶴を西粟倉中学校の生徒の皆さんに託しました。



川柳粟の实

五月句会から

もう一寸遊びたいけど日が暮れる
 遊ぶ子の声が嬉しい過疎の里
 お医者にも時々行ってよく遊び
 道草も出来ぬ不幸な通学路
 道草の相手は芹やスギナの子
 道草で柿を盗んだ罪がある
 どう見ても道草しない蟻の列
 案じたらとても出来ないバス旅行
 愛込めた料理冷めると不味くなる
 五月晴れ端午の節句鯉のぼり
 筍を握ったらついでに皮をむき
 両の手を伸ばして採った柚子一つ
 歩いてるうちは休めぬ万歩計

幸 早 早 洋 栄 幸 幸 日 幸 吉 日 吉 幸
 雄 苗 苗 子 子 雄 雄 夫 雄 男 夫 男 雄

満天星の中から

連休も薬続けて飲みました
 お悔やみ欄やたらに歳を見てしまう
 半額のセール原価が気に掛かる
 休耕田露やギボシの野菜畑
 曾孫の結婚式に出るつもり
 よう来たとドリンク二本持つてでる
 寒い日が続き冬物仕舞えない

栄 早 静 静 吉 幸 幸
 子 苗 子 子 男 雄 雄

○六月句会 六月一九日(火)

午後1時30分から あわくら会館和室にて
 課題「自由吟」日出夫選
 「雨」 幸雄選
 「薬」 吉男選
 「医者」 栄子選

今月の行事予定

6月13日→7月10日

6/13	(水)	小児科健診・ブックスタート (13:00~いきいきふれあいセンター)
6/15	(金)	あわくら大学 社会見学旅行 (京都)
6/21	(木)	のびのび子育て相談 (10:00~16:00いきいきふれあいセンター) 年金相談 (10:00~15:00 美作市大原公民館)
7/1	(日)	道路愛護デー (村内全域・各集落において実施)
7/4	(水)	歯科検診・フッ素塗布 (13:15~14:30いきいきふれあいセンター)
7/10	(火)	のびのび子育て相談 (10:00~16:00いきいきふれあいセンター)

燃えるごみ 6/14(木)、21(木)、28(木)、7/2(月)、
 7/5(木)、9(月)

紙類 (新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック) 7/6(金)

資源 (その他紙・プラ製容器・紙製容器・ペットボトル)
 6/12(火)、26(火)、7/10(火)

缶類 (缶・乾電池・小型金属類) 7/3(火)

びん類 (3色びん・生びん・蛍光灯類・ガラス類・陶器類) 6/19(火)

森林組合

木材市況

●スギ

径(センチ)	千 円
6~12	本150円~本220円
3 14~16	~10
m 18~20	~10
22~24	~12.5
6~13	本150円~本280円
4 14~16	~8
m 18~20	~9
22~24	~11
11~13	~8
6 14~16	~14
m 18~20	~15
22~26	~15

●ヒノキ

径(センチ)	千 円
6~12	本150円~本250円
3 13~14	~8
m 14~16	~15
18~20	~16
22~24	
6~13	本200円~本300円
4 14~16	8~18
m 18~20	10~17
22~24	~16
11~13	~6
6 14~16	~27
m 18~20	~27
22~26	15~25

●マツ

径(センチ)	千 円
6~12	5~10
3 13~14	5~10
m 14~16	5~10
18~20	5~10
22~24	5~10
6~13	5~10
4 14~16	5~10
m 18~20	5~10
22~24	5~10

気配 ス ギ 横ばい
 ヒノキ やや弱い
 マ ツ 横ばい
 (5月中旬 単位: m当たり)

入札結果情報

(平成24年4月14日~平成24年5月13日執行分)

発 注 課	産業観光課
事 業 名	西栗倉村営住宅建築工事Ⅰ工区
工 事 場 所	西栗倉村長尾地内
工 事 概 要	村営住宅3棟
落 札 業 者 名	西栗倉村建設事業協同組合
落札金額(税抜き)	30,600,000円

発 注 課	産業観光課
事 業 名	西栗倉村営住宅建築工事Ⅱ工区
工 事 場 所	西栗倉村長尾地内
工 事 概 要	村営住宅2棟
落 札 業 者 名	西栗倉村建設事業協同組合
落札金額(税抜き)	20,700,000円

満1歳お誕生日おめでとう

HAPPY BIRTHDAY

6月生まれ



くにさと みゆ
國里 美優 ちゃん
(別府)

6月1日生まれ

お父さん 大輔 さん

お母さん 初美 さん

●好きな食べ物

バナナ、みかん、パン

●今、興味あるもの

ネコ、コンサート、携帯

●ご両親からのメッセージ

いっぱいマンマを食べて、元気に美優らしく大き
くなってね!!



人の動き

平成24年5月1日現在

- 人口 1,571人(+1)
 - 男 732人(+1)
 - 女 839人(±0)
- 4月中の移動
 - 出生 0人 死亡 2人
 - 転入 10人 転出 7人
- 世帯数 559戸(+3)

幸せ多い人生を

- ・横江 孝雄 さん(引谷)
- (松島) 優子 さん(引谷)

善意の窓

(社会福祉協議会から)

平成24年4月15日～平成24年5月15日

おめでとうございます

別 府 小椋 和美 様 本人結婚内祝

お大事にしてください

大 茅 井上 健吾 様 本人退院内祝

中土居 山本 通義 様 本人退院内祝

ご冥福をお祈りします

大 茅 的場 俊幸 様 的場金蔵様香典返し

別 府 木村 美紀 様 河野静明様香典返し



平成25年(2013)は、美作国が建国されて1300年という記念すべき年を迎えます。そこで美作地域の10市町村が中心となって実行委員会を立ち上げ、平成26年3月までを事業期間としてさまざまな記念事業を展開していきます。美作国建国から1300年の節目を契機に、地域の人たちが郷土を愛し、それぞれの地域を盛り上げ、一体感を高めていきましょう。

◆美作国が建国されたのはいつ？

『続日本紀』によると、和銅6年(713)4月3日に誕生したとあります。

これは和銅3年(710)、奈良の平城京に都が移された3年後のことです

今月の村税

個人村県民税(第1期)

国民健康保険税(第1期)

納期限：7月2日(月)

◎納期限にご注意いただき、納付をお願いいたします。

口座振替の場合は残高確認をお願いいたします。

お問い合わせ先：役場総務企画課・保健福祉課

たばこは村内で買ひましょう。

◎村税等にかかる督促手数料について

今年度から、村税・保険料・使用料にかかる督促手数料が100円になっています。

納付期限までの納付に今後とも協力ください。